

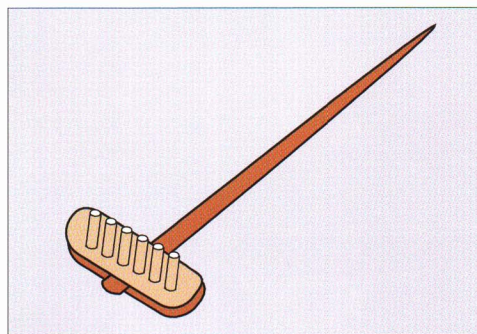
(3) 暮らしと道具のうつりかわり

塩川町には、昔使った生活の道具が^{のこ}残っています。この道具をみると、昔の人は工夫して作っていたことがわかります。また、昔の町の人にはどんな暮らしをしてきたのかもわかります。みなさんも調べてみましょう。

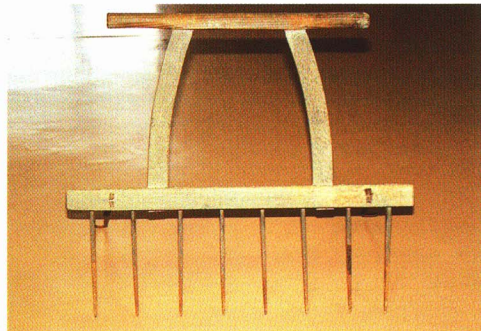
① 田をたがやすときに使った道具



しろ
代かき



こまざらい



まぐわ



えんぶり

〈まぐわ〉は、馬につけて田の土を細かくしたり、しろ代かきに使ったりしました。はなどりといって、馬の口に竹ざおをつけて子どもが馬を歩かせました。〈こまざらい〉は、田がぬかって馬が入れないひどろ田やせまい田のしろ代かきに使いました。〈えんぶり〉は、まぐわやこ